

農 林 水 産 部

農 林 水 産 総 務 課

I 農 業 総 務 費

1	農業委員会等運営事業	108,904	93,600	市町村農業委員会及び県農業会議の適正な運営を図るため、農地法・農業委員会等に関する法律で規定された業務の処理と事業の助成及び指導を行った。 ・市町村農業委員会助成 72,721 ・県農業会議助成 20,879
2	6次産業化ネットワーク活動推進事業	12,034	9,716	農林漁業者を主体に、加工業者や流通・販売業者等が参画して行う新商品の開発等を支援した。
(前年度繰越分)				
1	世界農業遺産推進事業	6,394	6,394	世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」の保全・継承と活用を図るため、みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会が取り組む国内外への情報発信や地域リーダーの育成等を支援した。

II 農 業 協 同 組 合 指 導 費

1	組 合 検 査 事 業	8,469	8,468	農業協同組合、森林組合、水産業協同組合、農業共済組合の適正な事業運営を図るため、農業協同組合法第94条等関連法令の規定による常例検査を実施した。
---	-------------	-------	-------	--

III 農 地 調 整 費

1	自作農財産管理等特別事業	14,933	8,703	自作農の創設等を目的として国が取得した農林水産省所管国有財産について、旧農地法の規定による売払い等の処分と維持管理を行うとともに、貸付け及び適正管理のための確認調査等を行った。
---	--------------	--------	-------	--

IV 試 験 場 費

1	農林水産業競争力アップ技術開発事業	40,768	39,634	農林水産関係者などから寄せられた研究テーマを外部評価により選定した継続課題22課題の研究を9試験場で実施し、新品種の育成や高品質生産・省力化等の技術開発に取り組んだ。
2	農林水産関係競争的資金試験研究事業	46,841	46,841	農林水産省等の外部機関の競争的（公募型）研究資金を獲得し、16課題の共同研究を6試験場で実施し、高品質生産・省力化技術等の開発に取り組んだ。

(前年度繰越分)

1 農林水産業競争力アップ 技術開発事業	23,115	22,881	農林水産関係者などから寄せられた研究テーマを外部評価により選定した新規課題12課題の研究を7試験場で実施し、新品種の育成や高品質生産・省力化等の技術開発に取り組んだ。
-------------------------	--------	--------	---

食 品 流 通 課

I 農 業 振 興 費

1 県産品販路開拓コーディネート事業	22,698	21,028	全国の百貨店や高級スーパー等への販路拡大を目指し、商談会や和歌山フェアを開催するなど生産者・製造者の販路開拓を支援した。また、Yahoo!ショッピングにおいて県のインターネットショッピングサイト「ふるさと和歌山わいわい市場」を展開し、バナー広告等で認知度向上に取り組んだ。
2 わかやま紀州館運営事業	15,217	15,217	東京有楽町にあるアンテナショップ「わかやま紀州館」で首都圏を中心に県産品の魅力を発信するとともに販売を行った。
3 国内大型展示会出展事業	1,934	1,934	「FOODEX JAPAN 2017」や「スーパーマーケット・トレードショー2017」等首都圏で開催される大型展示会に県ブースを設置することで、県内生産者・製造者の販路開拓支援を行うとともに国内外のバイヤーに大々的に県産品のPRを行った。
4 和歌山県農水産物・加工食品輸出促進事業	17,784	17,722	県産農水産物・加工食品等の海外での販路拡大を目指し、国際食品見本市への出展や、海外の百貨店・高級量販店等でのわかやまフェアの開催、海外バイヤーの招へいによる商談会の実施などの取組を行う和歌山県農水産物・加工食品輸出促進協議会を支援した。
5 わかやまブランド支援事業	9,521	9,142	県産品のブラッシュアップを促進するためサプライヤーが希望する分野の専門アドバイザーの派遣を行うとともに、中国・台湾・香港における和歌山関連地名等の商標登録を防ぐための監視を行った。
6 高級ブランド新構築事業	15,000	13,891	県産食品のブランド力や認知度を上げるため、JAグループとの協働によりトップセールスや百貨店フェア等のプロモーションを展開するとともに、大手企業とのコラボレーションにより本県食材の魅力を全国に発信した。
7 「おいしい!健康わかやま」定着PR戦略事業	7,150	7,090	イメージキャラクターの起用やマスメディアの活用等により、機能性PRや県産食材の「おいしい!健康わかやま」のイメージ定着を行った。

(前年度繰越分)

1 国内大型展示会出展事業	29,002	28,984	「FOODEX JAPAN 2017」や「スーパーマーケット・トレードショー2017」等首都圏で開催される大型展示会に県ブースを設置することで、県内生産者・製造者の
---------------	--------	--------	--

2	和歌山県農水産物・加工食品輸出促進事業	7,000	7,000
---	---------------------	-------	-------

販路開拓支援を行うとともに国内外のバイヤーに大々的に県産品のPRを行った。海外市場の販路開拓、販路拡大を目指し、アジアの高級量販店でのフェア開催やEU、米国におけるプロモーションを実施する和歌山県農水産物・加工食品輸出促進協議会を支援した。

農業農村整備課

I 農業総務費

1	中山間地域等直接支払事業	974,261	956,571
---	--------------	---------	---------

中山間地域等の条件不利性を補正することにより耕作放棄の発生を防止し、多面的機能の維持確保を図るための農業生産活動等を推進した。

II 土地改良費

1	中山間ふるさと・水と土保全対策事業	17,180	16,190
2	国営造成施設管理事業	21,959	21,958
3	国営事業等負担金事業	807,942	807,883
4	国営造成施設管理体制整備促進事業	72,925	72,925
5	基盤整備事業	36,314	30,281 〔翌年度繰越額 6,033〕
6	県営畑地総合整備事業	37,852	37,852
7	県営中山間総合整備事業	195,586	72,586 〔翌年度繰越額 123,000〕
8	基幹水利施設ストックマネジメント事業	203,605	136,436 〔翌年度繰越額 67,169〕
9	農村総合整備事業	31,841	26,937 〔翌年度繰越額〕

中山間地域活性化を図るための基金を造成し、その運用益等により土地改良施設及び農地の多面的機能の維持及び強化に係る調査研究・啓発活動を実施した。

国営十津川紀の川土地改良事業で造成した施設の維持管理費を負担した。

国営土地改良事業及び森林総合研究所事業の負担金（完了地区償還金、直入負担金）を支出した。

国営事業及び附帯県営事業により造成された農業水利施設管理の多面的機能発揮分に対する土地改良区への支援、管理計画の策定、農業水利施設の役割や多面的機能等に関して地域住民に啓発広報活動を実施した。

農業の生産性の向上、効率的・安定的な農業経営の確立等を促進するため、市町村が実施する土地基盤の整備事業に対し補助した。

生産性の向上と畑作経営の安定を図るため、幹線農道の整備を実施した。

中山間地域の農村の活性化を図るため、生産基盤の整備を総合的に実施した。

県営土地改良事業により造成された農業水利施設の長寿命化に向けた取組として、機能保全対策を実施した。

活力ある農村地域をつくるため、市町村が実施する生産基盤整備及び生活環境整備事業に対し補助した。

10	県営中山間地域ほ場環境整備事業	60,511	3,967 50,357 翌年度繰越額 10,153	中山間地域における産地維持を支援するため、営農上の懸案となっている基盤整備を行った。
11	県単小規模土地改良事業	89,178	76,683	市町村や農業者団体が実施する、国の採択基準に満たない農道整備、かんがい排水、ため池保全、ほ場整備等に対し補助した。
12	団体営中山間地域果樹農業再生基盤整備事業	32,925	19,083 翌年度繰越額 13,842	自然的、社会的な諸条件において不利な状況にある中山間地域の果樹園において、優良品種への転換や老木園の若返りに併せて行う条件不利克服のための生産基盤整備に対し補助した。
13	県営農業水利施設保全合理化事業	104,868	104,868	施設管理者の労力軽減及び施設の下流地域の冠水被害を未然に防止するため、施設の自動化や省力化対策を実施した。
14	多面的機能支払事業	311,704	306,313	農業・農村が持つ国土保全や水源かん養・景観形成など、多面的機能が維持・発揮されるための活動を支援した。
15	県営農業基盤整備促進事業	507,317	424,825 翌年度繰越額 82,492	地域の実情に応じた迅速かつきめ細やかな整備を実施し、担い手への農地集積の加速化、生産効率の向上、農業競争力の強化に向け農業水利施設の整備を行った。
16	団体営農業基盤整備促進事業	206,960	124,175 翌年度繰越額 82,784	地域の実情に応じた迅速かつきめ細やかな農地・農業水利施設等の整備を実施し、担い手への農地集積の加速化、生産効率の向上、農業競争力の強化を図る市町村等に対し補助した。
17	水土里のむら機能創出支援事業	5,540	5,151	中山間地域における共同体としての「むら機能」を、地域住民や都市住民の協力を得て再構築するため、地域住民による集落点検と活性化のアイデア検討（ワークショップ）により共同活動の活性化を促進し、「自ら考え行動する地域づくり」を支援した。
(前年度繰越分)				
1	基盤整備事業	9,419	9,419	農業の生産性の向上、効率的・安定的な農業経営の確立等を促進するため、市町村が実施する土地基盤の整備事業に対し補助した。
2	県営中山間総合整備事業	23,347	23,347	中山間地域の農村の活性化を図るため、生産基盤の整備を総合的に実施した。
3	農村総合整備事業	1,694	1,694	活力ある農村地域をつくるため、市町村が実施する生産基盤整備及び生活環境整備事業に対し補助した。
4	県営農村地域エコエネルギー導入プロジェクト事業	2,835	2,556	農村地域に存在する自然エネルギーを有効活用し、農家の経営安定を図るため、農業用施設等を活用した再生可能エネルギーの導入可能性調査を実施した。
5	団体営中山間地域果樹農業	6,990	6,990	自然的・社会的な諸条件において不利な状況にある中山間地域の果樹園において、優良

業再生基盤整備事業

6	団体営農業水利施設保全 合理化事業	4,252	4,252
7	県営農業基盤整備促進事 業	71,142	71,142

品種への転換や老木園の若返りに併せて行う条件不利克服のための生産基盤整備に対し補助した。

団体が実施する、合理化・管理省力化を図る農業水利施設の整備に対し補助した。

地域の実情に応じた迅速かつきめ細やかな整備を実施し、担い手への農地集積の加速化、生産効率の向上、農業競争力の強化に向け農業水利施設の整備を行った。

Ⅲ 農地防災事業費

1	県営ため池等整備事業	808,302	594,542 〔翌年度繰越額〕 209,770
2	地すべり防止対策事業	392,385	270,380 〔翌年度繰越額〕 122,005
3	ため池調査事業	95,805	95,655
4	ため池保全体制支援事業	2,866	2,635
5	中山間総合農地防災事業	86,100	73,955 〔翌年度繰越額〕 10,045
6	県営防災ダム事業	253,633	186,190 〔翌年度繰越額〕 67,443

ため池の機能回復と災害の未然防止を図るため、ため池等の整備を実施した。

地すべり地域内の降雨をできる限り地下へ浸透しないように承水路・排水路を整備して速やかに地区外へ排出するなど、地すべりの防止を図る事業を実施した。

災害の未然防止、防災力向上を推進するために、主要なため池の諸元等の把握、対策計画の策定及びハザードマップ作成を支援した。

ため池の水難事故防止及び保全活動の啓発・普及を実施した。

中山間地域におけるため池及び農業用排水路等を総合的に整備し、災害に強い農村づくりを推進するため、ため池改修を実施した。

既存施設の老朽化により起こる洪水等の災害を防止するため、ゲート及びダム管理施設等の更新に必要な整備工事等を実施した。

(前年度繰越分)

1	県営ため池等整備事業	32,160	32,159
2	地すべり防止対策事業	34,766	34,765
3	中山間総合農地防災事業	61,500	61,500
4	県営防災ダム事業	64,750	64,750

ため池の機能回復と災害の未然防止を図るため、ため池等の整備を実施した。

地すべり地域内の降雨をできる限り地下へ浸透しないように承水路・排水路を整備して速やかに地区外へ排出するなど、地すべりの防止を図る事業を実施した。

中山間地域におけるため池及び農業用排水路等を総合的に整備し、災害に強い農村づくりを推進するため、ため池改修を実施した。

既存施設の老朽化により起こる洪水等の災害を防止するため、ゲート及びダム管理施設等の更新に必要な整備工事等を実施した。

果 樹 園 芸 課

I 農業経営対策費

1 農業活性化支援事業	837,422	31,621	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;"> 翌年度繰越額 804,148 </div>
-------------	---------	--------	---

農業の活性化を図るため、生産・流通施設や都市農村交流施設の整備等を支援した。

- ・事業費補助金 29,640
- ・事務費補助金 58
- ・県指導事務費 1,923

[産地パワーアップ事業]

市町村名	事業内容	事業費	補助金
海南市	かんきつ選果機の整備	47,196	21,850

[経営体育成支援事業]

市町村名	事業内容	事業費	補助金
紀の川市	農業用施設の整備、農業用機械の導入	16,429	5,312
上富田町	農業用施設の整備	8,260	2,478
計		24,689	7,790

2 グリーンツーリズム推進事業	2,269	681
-----------------	-------	-----

農林業と観光を融合したグリーンツーリズムを推進するため、PR活動を行った。

(前年度繰越分)

1 農業活性化支援事業	1,130,787	1,044,237
-------------	-----------	-----------

農業の活性化を図るため、生産・流通施設や都市農村交流施設の整備等を支援した。

- ・事業主体 かつらぎ町、事業内容 交流施設（直売所・飲食施設）の整備
- ・事業費補助金 161,671
- ・事業主体 JAありだ、事業内容 かんきつ選果機の整備
- ・事業費補助金 716,116
- ・事業主体 JAありだ、事業内容 かんきつ選果機の整備
- ・事業費補助金 124,000
- ・事業主体 日高川施設園芸組合、事業内容 低コスト耐候性ハウスの整備
- ・事業費補助金 42,450

2 グリーンツーリズム推進事業	15,500	8,467
-----------------	--------	-------

農林業と観光を融合したグリーンツーリズムを推進するため、体験交流施設の整備への支援やPR活動を行った。

事業主体	事業内容	事業費	補助金
紀美野町	農家民泊の整備	1,754	500
橋本市	農家民泊、市民農園の整備	1,101	382
かつらぎ町	交流施設の整備	518	160
広川町	農家民泊、交流施設の整備	3,710	1,235

・飯倉公館活用対外発信事業におけるグリーンツーリズムPR活動

II 農業振興費

1 わかやま食育推進総合対策事業

22,623

21,268

県食育推進計画に基づき、総合的かつ計画的な食育の推進を行った。また、県産農産物を活用した食育・地産地消の推進と地域における食育実践活動への支援を行った。

[県食育推進会議の運営、普及啓発]

・食育の推進を県民運動として展開するため、食育推進体制の整備、食育啓発事業の実施及び食育ボランティアの活動体制の整備等を行った。

[学校給食等への県産農水産物の提供]

・学校給食への提供

みかん	実施期間	平成28年11月	実施校数	262校
魚(さば等)	実施期間	平成28年10月～平成29年2月	実施校数	220校

・学習活動の教材として提供

うめ	実施期間	平成28年6月	実施校数	257校
もも	実施期間	平成28年7月	実施校数	256校
かき	実施期間	平成28年10月	実施校数	257校

[和歌山版「食事バランスガイド」の普及・活用]

・県産農産物や郷土料理を活用した和歌山版「食事バランスガイド」を普及・活用することにより、県民のバランスのとれた食生活の実現、地産地消、地域食文化への理解促進を図った。

[食育実践地域活動支援事業]

・地域の特性を活かした食育実践活動への支援を行った。

事業主体	事業内容	事業費	補助金
一般社団法人和歌山県調理師会	出前授業の実施	400	200
J Aながみね	県産品応援キャンペーン、農作業体験の実施	382	150
J A紀の里	出前授業の実施	889	400

事業主体	事業内容	事業費	補助金
有田川町	出前授業の実施	199	99
J Aありだ	県産品応援キャンペーン、農作業体験の実施	481	222
丸新本家株式会社	県産品応援キャンペーン、料理教室の実施	470	185
和歌山南漁業協同組合女性部	出前授業の実施	234	117
上富田町農業振興協議会	出前授業、農作業体験の実施	275	137
J Aみくまの	県産品応援キャンペーンの実施	308	143
新宮周辺地場産青果物対策協議会	出前授業の実施	294	147
和歌山県漁協女性部連合会	出前授業の実施	201	100
産直カフェエフノカッテ経営者会	農作業体験の実施	194	96
伊都地方農業振興協議会	出前授業の実施	225	112
計		4,552	2,108

2 野菜花き産地総合支援事業

112, 220

109, 155

野菜花き産地の拡大や活性化を図るため、省エネ、高品質化、低コスト化などに必要な設備導入や消費拡大活動を総合的に支援した。

事業主体	事業内容	事業費	補助金
ニューリーフ	パイプハウスの高度化（耐風性）、循環送風機、遮光（遮熱）ネット、土壌消毒機、野菜袋詰機の導入	29,096	7,546
フューチャー研究会	循環送風機、炭酸ガス発生装置の導入	788	210
J A紀の里生産販売委員会	パイプハウスの高度化（耐風性）、放熱フィン、多段サーモ、遮光（遮熱）ネット、ミスト装置、定植機、播種機、剪葉機の導入	8,023	2,157
紀の川莓出荷組合	パイプハウスの高度化（耐風性）、循環送風機、炭酸ガス発生装置、高設栽培装置の導入	11,473	3,066
紀州やさい	ミスト装置の導入	607	162
那賀地区いちご生産組合	紫外線照射装置の導入	2,938	785
J Aありだ	循環送風機、予冷庫の導入	1,863	496

事業主体	事業内容	事業費	補助金
イナミ営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性、耐暑性）、循環送風機、自動換気装置の導入	52,116	16,073
いなみ営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性、耐暑性）、循環送風機、多重カーテン、遮光（遮熱）ネットの導入	43,504	11,896
ごぼう営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性、耐暑性）、多段サーモ、循環送風機、多重カーテン、放熱フィン、養液栽培システム、炭酸ガス発生装置、定植機、遮光（遮熱）ネットの導入	73,396	22,304
ひだかがわ営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性、耐暑性）、多重カーテン、高設栽培装置、炭酸ガス発生装置、自動換気装置の導入	34,980	9,926
ひだか営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性、耐暑性）、多重カーテン、ハウス浸水防止、自動換気装置の導入	37,439	7,986
みなべ営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性、耐暑性）、循環送風機、ヒートポンプ、遮光（遮熱）ネットの導入	42,234	12,985
南部営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性）、循環送風機、多段サーモ、遮光（遮熱）ネットの導入	26,456	8,161
紀州の花生産協同組合	遮光（遮熱）ネットの導入	1,834	565
J A 紀州	推進事業（母の日参りプロジェクト）	1,897	878
J A 紀南	循環送風機、多段サーモ、遮光（遮熱）ネット、定植機の導入	3,324	886
くろしお苺生産販売組合	パイプハウスの高度化（耐風性）、	8,169	2,520

事業主体	事業内容	事業費	補助金
	高設栽培装置の導入		
和歌山県いちご生産組合連合会	推進事業（新戦略商品の開発）	1,381	553
	計	381,518	109,155

（前年度繰越分）

1 果樹産地競争力強化総合
支援事業

112,000

78,722

果樹産地ごとの課題に応じた生産対策を総合的に支援した。

事業主体	事業内容	事業費	補助金
J Aわかやま	チャレンジ支援 32 a	1,218	376
J Aながみね	チャレンジ支援、マルチ、保冷庫の導入 1,990 a	14,315	4,418
J A紀の里	防風ネット、園内道等の整備 869 a	10,257	3,166
J A紀北かわかみ	チャレンジ支援、かん水施設の導入、園 内道等の整備、推進事業 733 a	29,285	9,247
マルい選果場	チャレンジ支援、推進事業（完熟富有柿 のブランド化） 1,295 a	853	331
J Aありだ	チャレンジ支援、改植、マルチ、冷蔵庫 の導入、園内道等の整備 1,035 a	24,911	7,914
A Q中央選果場 柑橘部会	チャレンジ支援、改植、マルチ、かん水 施設、循環送風機の導入、園地整備 453 a	4,657	1,572
A Q総合選果場 柑橘部会	チャレンジ支援、改植、マルチ、かん水 施設の導入、園内道等の整備 453 a	5,463	1,957
A Qマル南選果場柑橘部会	改植、マルチ、循環送風機の導入 349 a	6,290	2,002
有田市農業研究会	チャレンジ支援、改植、マルチの導入 414 a	4,133	1,436
早和果樹園	推進事業（海外におけるプロモーション）	546	242
マル賢共選組合	光センサー選果機	53,784	16,600
J A紀州	かん水施設、予冷庫の導入、保水対策、 園内道等の整備 240 a	21,203	6,544
みなべ梅対策協議会	推進事業（うめ機能性の調査研究、P R）	3,976	1,987

事業主体	事業内容	事業費	補助金
日高川果樹協議会	マルチ、かん水施設の導入、園内道の整備 22 a	456	141
由良町果樹対策協議会	改植、マルチの導入 119 a	1,464	481
J A紀南	改植、マルチ、かん水施設、循環送風機の導入、保水対策 5,566 a	33,796	10,603
紀州田辺うめ振興協議会	推進事業（うめ機能性の調査研究、P R）	5,492	2,724
田辺市柑橘振興協議会	推進事業（みかん木熟ブランド品の推進）	1,012	505
県かんきつ生産振興部会	推進事業（みかん栽培技術研修会の開催）	232	109
県農業協同組合連合会	脱渋庫炭酸ガス自動制御機器の導入、推進事業（機能性の調査研究、新出荷基準のP R、海外市場におけるブランド化）	17,020	6,367
計		13,570 a	78,722

2 みかん厳選出荷促進事業 38,000 23,197

温州みかんの市場評価を高めるため、J Aグループが実施する厳選出荷の取組を支援した。

Ⅲ 農作物対策費

1 生産調整推進対策事業 42,768 41,399

経営所得安定対策を推進するとともに、生産数量目標に基づく米の需給均衡、適正な流通に努めた。

- ・平成28年産生産数量目標 34,479 t（面積換算6,972ha）
- ・平成28年産作付確定面積 6,720ha
- ・市町村補助金 39,434千円
- ・県協議会補助金 1,454千円

Ⅳ 土壌肥料対策費

1 エコ農業推進モデル事業 8,509 7,802

土づくりを基本とした化学肥料、化学農薬に過度に頼らない環境に優しいエコ農業を推進するとともに、有機、特別栽培認証制度を活用したエコ農産物の高付加価値化と消費拡大を推進した。

- ・エコ農業推進モデル園の設置（県内7箇所）
- ・環境保全型農業直接支援対策（環境保全型農業直接支払）事業の実施

市町村名	取組面積 (a)	申請件数(件)	補助金	備考
海南市	892	4	535	有機農業、草生栽培
紀の川市	586	3	339	有機農業
岩出市	446	1	193	有機農業
橋本市	36	1	14	有機農業
かつらぎ町	600	3	360	有機農業、草生栽培
有田市	271	1	163	有機農業
広川町	337	1	202	草生栽培
有田川町	607	1	364	有機農業
みなべ町	1,170	2	702	有機農業、草生栽培
田辺市	1,555	1	933	有機農業
白浜町	140	1	84	有機農業
上富田町	100	1	60	有機農業
計	6,740	20	3,949	

V 植物防疫費

1 農作物病害虫対策事業 9,393 7,178

県内農作物の病害虫の発生状況をほ場での調査を通じて迅速・的確に把握し、発生予察を実施するとともに、予察情報の迅速な提供、病害虫の防除技術の導入指導等により農作物の被害防止に努めた。

情報の種類	回数	備考
発生予察情報	15回	予報8回(月1回4~11月) 注意報2回、その外5回
ホームページ	随時	病害虫の発生情報の提供

2 わかやま農産物安心プラス事業 2,194 1,928

農薬残留の検査を二段階(収穫前と出荷段階)で実施するとともに、基準超過時の対応マニュアルの整備等に取り組んだ生産者団体等を、審査会での審査結果を受けて認証した。

- ・認定団体数 13団体
- ・認証品目 31品目(果樹11品目、野菜19品目、米)

[出荷段階残留農薬検査の実施]

事業主体	検体数	事業費	補助金	備考
北山じゃばら生産組合	2	111	52	じゃばら
てらがき農園	1	59	27	うめ
大内茂樹	1	39	19	米

事業主体	検体数	事業費	補助金	備考
計	4	209	98	

3 農作物鳥獣害防止総合対策事業 404,346 374,244

野生鳥獣による農作物被害を減少させるため、捕獲を強化するとともに、防護、環境整備を総合的に推進するために事業を実施した。

○捕獲

[有害鳥獣捕獲]

- ・捕獲数 イノシシ 12,411、シカ 10,409、サル 1,149、その他獣類 2,350
鳥類 390 計26,709頭
- ・事業費 302,798、補助金 239,373

[シカ管理捕獲]

- ・捕獲数 1,463頭、委託費 17,562

[サル管理捕獲]

- ・捕獲数 114頭、委託費 684

[免許取得助成]

- ・わな免許 107人 銃免許 34人、補助金 2,427

[狩猟前訓練支援]

- ・訓練者数 1,917人、補助金 6,636

[指定管理鳥獣捕獲等事業(夜間銃猟)]

- ・捕獲数 54頭、委託費 12,117

○防護

[防護柵設置支援]

- ・事業費 93,744、補助金 29,996、延長距離193 k m、19市町

[鳥獣被害防止総合対策事業(国庫)]

- ・防護柵設置 事業費 14,074、補助金 13,979、延長距離23 k m、5市町・協議会

○環境整備

[農作物鳥獣害対策アドバイザーの育成]

- ・研修会 5回、認定者数 21人 延べ 179人

[鳥獣被害防止総合対策事業(国庫)]

- ・推進事業 事業費 26,014、補助金 19,456、15協議会

(前年度繰越分)

1 わかやま農産物安心プラ 9,884 9,884

農薬残留の検査を二段階(収穫前と出荷段階)で実施するとともに、基準超過時の対応マ

ス事業

ニュアルの整備等に取り組んだ生産者団体等を、審査会での審査結果を受けて認証した。

- ・認定団体数 13団体
- ・認証品目 31品目（果樹11品目、野菜19品目、米）

〔出荷段階残留農薬検査の実施〕

事業主体	検体数	事業費	補助金	備考
J Aわかやま	38	1,498	694	しょうが、だいこん等
J Aながみね	22	867	402	みかん、かき、うめ等
J A紀の里	76	2,996	1,387	もも、かき、うめ等
J A紀北かわかみ	67	2,641	1,222	かき、もも、みかん等
J Aありだ共選協議会	79	3,114	1,442	みかん、はっさく等
J A紀州	140	5,428	2,512	うめ、ミニトマト、うすい等
J A紀南	89	2,884	1,335	うめ、みかん
J Aみくまの	4	158	73	いちご、ほうれんそう、たかな
和歌山県農業協同組合連合会	27	1,064	492	米
北山村じゃばら生産組合	15	569	288	じゃばら
ありだフルーツ農家直送の会	1	81	37	みかん
計	558	21,300	9,884	

畜産課

I 畜産振興費

1 養鶏・養蜂振興事業	1,416	1,152
2 畜産就農活性化事業	1,061	828

和歌山県ブランドの「うめどり・うめたまご」の普及推進を図るとともにみつばちの分布の適正化、みつ源増殖の推進等養鶏・養蜂の振興を推進した。

新規畜産就農希望者に対する相談窓口を設置し、新規就農者の確保を図るとともに、新規畜産就農者が畜産経営を開始するのに適している特用家畜の普及定着化を推進した。

〔畜産生産基盤育成強化の取組〕

- ・新規畜産就農希望者等に対する相談、指導

〔特用家畜振興推進事業〕

- ・特用畜産物の普及啓発活動の実施
- ・特用家畜の各種調査指導の実施

3 畜産経営指導事業 5,068 5,050

畜産農家、特に後継者の育成と経営の安定を図るため、経営診断指導を実施するとともに、畜産関係情報のデータベース化及び提供等を行った。

〔畜産経営指導〕

診断事業名	酪農	肉用牛	養豚	採卵	ブロイター	計
経営改善指導	4	31	9	0	—	44
高度化支援指導	10	7	1	0	—	18
計	14	38	10	0	—	62

4 熊野牛品質向上対策事業 5,394 4,768

〔肉用牛改良増殖推進〕

肉用牛経営の安定化を図るため、熊野牛個体情報の収集・分析を行い、産肉能力の育種価等の情報を生産者に提供した。

- ・委託事業者名：(公社) 畜産協会わかやま
- ・委託料 1,213

〔増体系繁殖雌牛増頭支援、熊野牛子牛出荷増頭、熊野牛子牛品質向上〕

育種価を活用した繁殖雌牛の増頭奨励及び受精卵を活用した増頭対策等を行った。

- ・事業実施主体：熊野牛産地化推進協議会 外2件
- ・補助金 3,001

5 畜産を活用した資源エコ
ループの推進事業 6,979 5,787

畜産経営に起因する環境汚染の防止及び家畜堆肥の有効利用等により、地域と調和した健全で安定的な畜産経営の確立を図るため、堆肥生産・流通実態調査を実施し、これに基づく総合的な指導を行った。また、余剰食品を飼料化したエコフィードの利用を推進し、農家における経営コストの削減と飼料自給率の向上に努めた。

6 活かそう、つながろう！わ
かやまジビエ事業 5,483 4,292

農作物の獣害対策として捕獲されるイノシシ、シカを食肉として地域資源等に活かせるよう食肉流通等を推進した。また、より安全で安心な「わかやまジビエ」を提供するため「わかやまジビエ処理施設衛生管理認証制度」並びに「わかやまジビエ肉質等級制度」の普及推進を図った。

II 家畜保健衛生費

1 家畜伝染病予防事業、家
畜診療及び人工授精事業 51,326 43,118

家畜保健衛生所において、下記のとおり予防注射・検査及び診療・人工授精等を実施し、畜産経営の安定と生産性の向上及び畜産物の安全性の確保に努めた。

事業名	実施頭羽(件)数	事業名	実施頭羽(件)数
伝染性海綿状脳症(牛)検査	24 頭	豚伝染性疾病立入検査	10,077 頭
ヨ一ネ病検査	628 頭	鶏伝染性疾病立入検査	263,178 羽
牛白血病検査	779 頭	牛伝染性鼻気管炎予防注射	155 頭
オーエスキー病検査	220 頭	豚丹毒予防注射	1,016 頭

事業名	実施頭羽(件)数	事業名	実施頭羽(件)数
ニューカッスル病検査	1,070 羽	豚流行性脳炎予防注射	57 頭
家禽サルモネラ感染症検査	7,300 羽	アカバネ・アイノ・チュウザン3種混合予防注射	1,040 頭
高病原性鳥インフルエンザ検査	2,610 羽	牛5種混合予防注射	556 頭
腐 蛆 病 検 査	5,222 群	検 診 検 査	1,657 頭
牛伝染性疾病立入検査	19,583 頭	人 工 授 精	913 件

2	家畜衛生技術指導事業	6,072	6,072
3	高病原性鳥インフルエンザ埋却物最終処分事業	103,794	79,803

安全・安心な畜産物の生産を推進するため、生産から消費段階までの一貫した家畜衛生対策を実施するとともに、県内畜産業の安定的な生産を推進するため、生産性向上対策及び家畜疾病低減対策等を実施した。

平成23年2月の高病原性鳥インフルエンザ発生時に、紀の川市所有地に埋却した鶏、飼料、鶏卵等の埋却物の最終処分を実施した。

経 営 支 援 課

I 農 業 総 務 費

1	農業経営基盤強化促進対策事業	7,788	5,521
2	農地流動化支援事業	27,754	26,091
3	和歌山版農地活用総合支援事業	31,699	29,916

効率的で安定的な農業経営者の育成を図ることを目的として、担い手育成総合支援協議会を核に認定農業者制度の推進等を行った。

担い手への農地集積と流動化により、優良農地の維持確保と農業の生産性の向上を図るため県に基金の造成を行うとともに、造成した基金等を活用して（公財）和歌山県農業公社（農地中間管理機構）が行う事業等に対し助成を行った。

- ・（公財）和歌山県農業公社助成 17,274
- ・基金造成額 579

（公財）和歌山県農業公社（農地中間管理機構）を核に和歌山県の実情に応じた農地の流動化を推進するため、JAが主体となった地域段階での推進活動の支援を行うとともに、和歌山県の主産物である果樹の優良園地を長期貸借で流動化・集積する取組の支援を行った。

- ・果樹産地支援 14市町 90.1ha
- ・（公財）和歌山県農業公社助成 12,961

II 農 業 改 良 普 及 費

1	農業担い手対策事業	371,891	348,373
---	-----------	---------	---------

青年農業者の育成やIターンなど幅広く農業の担い手を育成・確保するため、就農相談

活動の実施、就農支援会議等を開催した。

また、市町村に対して地域農業のマスタープランとなる「人・農地プラン」の作成支援を行うとともに、就農研修期間及び就農初期段階の青年就農者の所得安定を図るため、青年就農給付金を給付した。

・人・農地プランの作成・更新 16市町 38プラン

・青年就農給付金の給付 259人 343,831

2 地域農業再編普及活動事業 12,279 11,108

効率的かつ安定的な農業経営体を育成するため、技術実証圃の設置運営・農業者の意向に即した経営指導、遊休農地解消の推進、新規就農者、青年農業者のスキルアップ研修の開催等の普及活動を実施した。

3 アグリミズ等チャレンジ21事業 1,697 1,462

農村女性グループが主体となって実施する農産物の直売や加工等の活動に対し、情報提供や経営・マーケティング等の指導を行い起業活動を支援した。また、家族経営協定の締結を推進した。

・女性起業グループ数 77グループ

4 就農支援センター運営事業 8,056 6,084

新規就農希望者に対する就農相談や就農に必要な各種研修の体系的実施及び就農希望地における円滑な就農と定着に向けたサポートを行った。

・相談延べ件数 259件

・農業体験研修受講者数 126人

・技術修得研修受講者数 15人

5 就農支援センター社会人課程事業 1,710 1,694

就農を希望する社会人を対象に9箇月間農業経営に必要な知識や技術習得のための実践的な訓練を実施した。

III 農業協同組合指導費

1 農協運営指導事業 1,386 1,383

農協事業運営の一層の高度化・効率化を図るため、農協のコンプライアンス態勢や信用事業の強化に対する調査指導を行った。

IV 農業金融対策費

1 農業近代化資金等運営管理事業 20,795 19,596

農業経営の近代化を図る農業者等に貸し付けた農業近代化資金の利子補給を実施した。

・平成28年12月31日現在融資残高 1,664,709

・本年度承認額 967,540

・本年度利子補給補助金 17,351

2 生活営農資金等融資・管理事業 1,522 1,420

農業者の経営安定と生活環境の整備等を目的とする長期低利資金の利子補給を実施した。

・平成28年12月31日現在融資残高 352,090

・本年度承認額 299,070

3	農業経営基盤強化資金利子補給事業	1,439	1,415	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度利子補給補助金 1,411 <p>経営感覚に優れた経営体の育成に資するため、認定農業者が計画を達成するために借り入れる農業経営基盤強化資金の利子補給を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年12月31日現在融資残高 769,869 ・本年度利子補給補助金 1,415
V 農業共済団体指導費				
1	農業共済指導事業	527	488	農業共済組合が行う共済事業を本県農業のセーフティネットとして機能させるため、農業共済組合の運営、業務について指導監督を実施した。
VI 農業大 学 校 費				
1	養成事業	19,489	18,206	次代の農業・農村の担い手にふさわしい広い視野と専門知識、技術、経営能力及び組織活動、能力を持った優れた人材を養成した。
2	研修事業	1,121	1,121	農村の青少年や農業者への研修及びIターン・Uターンを含む就農希望者に対する基礎的な研修等、担い手を育成するための体系的かつ継続的な短期研修教育を行った。
3	社会人課程事業	1,236	1,078	就農を希望する社会人を対象に9箇月間農業経営に必要な知識や技術を習得するための実践的な訓練を実施した。
林 業 振 興 課				
I 林業総務費				
1	紀の国森林管理推進事業	22,638	21,864	地域森林計画の樹立・変更及びその実行管理のため、森林現況調査、森林地理情報管理システム（森林GIS）及び森林情報精度向上支援ソフトの保守・機能改修並びに森林情報整備を行った。
2	林業普及指導事業	6,545	5,928	林業普及指導職員（36人）を配置し、森林・林業施策の円滑な実施、地域リーダーの育成及び林業技術・知識の普及等を図るため、森林所有者等への普及指導活動を行った。また、普及指導職員の資質・知識の向上のため、研修会を行った。さらに、地域の森林づくりをトータル的に指導できる人材の育成研修に参加した（1人）。
3	林業担い手社会保障制度等充実対策事業	19,201	18,961	林業従事者の社会保障の充実のため、以下の事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・林業退職金制度加入促進事業 ・林業社会保険制度加入促進事業 ・林業労働者任意災害補償保険助成事業

4	低コスト林業基盤整備サポート事業	76,294	76,253	搬出間伐の推進を図るため、作業道整備及び高性能林業機械レンタル経費を一体的に支援した。
5	新生農林大学校（仮称） 林業研修部新設準備事業	13,686	13,685	新規就業希望者を実践的な技術と知識を持った即戦力となる技術者に育成するとともに、従事者のスキルアップを図るため、農林大学校林業研修部の新設準備を行った。

II 林業振興費

1	森林整備地域活動支援交付金事業	17,611	16,321	森林の多面的機能を一層高度に発揮させるため、森林所有者等が行う計画的かつ適正な森林施業の実施に不可欠な地域活動に対し支援した。
2	紀州材需要拡大対策支援事業	290,967	269,655	紀州材の需要拡大を図るため、乾燥紀州材を使用する住宅建築に係る経費や、県民が利用する公共施設等の整備に対して助成した。
3	紀州材販路拡大支援事業	17,429	15,590	紀州材の販売促進を図るため、木材の大消費地である首都圏等における展示会出展や産地見学会開催等への助成、商談会の開催などを行った。また、非住宅建築物の木造化に関して、連続講座を開催した。
4	紀州材加工流通施設整備加速化事業	12,535	12,535	紀州材の流通体制を強化するため、森林組合等の施設整備に対して助成した。

III 林業構造改善対策費

1	低コスト作業システム整備事業	69,035	68,859	間伐等森林整備及び素材生産の増大を推進するため、生産性の向上や労働環境の改善を図る事業体に対し、高性能林業機械の整備を支援した。
---	----------------	--------	--------	--

IV 山村振興対策費

1	住みよい山村集落総合対策事業	52,041	51,458	山村資源の活用及び集落基盤の整備を総合的に支援し、安全・安心な活力ある山村集落づくりを行った。
---	----------------	--------	--------	---

事業名	事業費	補助金	事業内容
「山の恵み」活用	44,448	13,927	生産・加工・販売施設等整備支援 18箇所
山村のくらし支援整備	59,726	17,659	生活環境施設整備 1箇所 生活関連道路整備 3箇所 交流活動施設整備 1箇所
山の基盤機能回復	44,966	18,285	作業道路面補修等 24路線
きのこ安定供給緊急支援	3,597	1,360	きのこ原木の購入差額補助 1組合

V 林道費

1 補助林道事業 451,455 436,600
 翌年度繰越額 13,860

林業生産基盤を整備し、多面的な機能を有する森林の適正な整備と保全、山村振興に資するため、市町村が実施する林道の開設・改良・舗装を支援した。

区 分		路線数	事業費	補助金
補 助	開 設	8 路線	440,168	266,971
	改 良	4 路線	129,900	69,045
	舗 装	4 路線	158,000	86,900

2 森林路網整備加速化事業 88,600 0
 翌年度繰越額 88,600

間伐等森林整備の促進及び木材生産量の増大を図るため、間伐地と林道等を結ぶ路網の整備に対する補助の手続きを進めた。

(前年度繰越分)

1 補助林道事業 59,504 59,504

林業生産基盤を整備し、多面的な機能を有する森林の適正な整備と保全、山村振興に資するため、市町村が実施する林道の開設を支援した。

区 分		路線数	事業費	補助金
補 助	開 設	3 路線	98,240	58,944

森 林 整 備 課

I 林 業 総 務 費

1 保安林整備管理事業 4,378 4,154

国土の保全（災害の防備）、水資源のかん養、生活環境の保全・形成等の公益目的を達成するために、特にこれらの機能を発揮させる必要のある森林を保安林に指定し、その森林の保全と適切な森林施業の確保を行った。また、公益上の理由（道路用地への転用等）により保安林の指定の解除を行った。

- ・指定 16箇所 344 h a
- ・変更 39箇所 9,038 h a
- ・解除 14箇所 5 h a

2 「企業の森」推進事業 5,514 5,080

環境貢献に関心のある民間企業等の資金や人材の導入により産官連携した森林整備・環境貢献等を進めるため、個別企業・労働組合に対し本事業への参画を要請した。

また、「企業の森」普及のため、これまでの企業訪問やダイレクトメール、環境展出展に加え、「企業の森」事業の15周年記念事業として大阪市中之島で『「企業の森」シンポジウム i n O S A K A』を開催し、在阪企業等を中心に108企業・団体、241人が参加する中、事業PRを実施。

3	紀の国森づくり基金活用事業	390,065	347,352
4	都市のやすらぎ街なか緑化事業	1,250	1,250

・平成28年度参画団体 4団体
 森林を県民の財産として守り育て次の世代に引き継ぐため、間伐等の森林整備、森林の公有林化、子供達への森林学習及び県民が広く参加するための公募事業等を行った。
 やすらぎと潤いが享受できる緑あふれる街なかの生活環境づくりのため、公開性のある場所において一定規模以上の植樹及びその植栽木の適切な育成を実施する県民等に対し、補助を行った。

・平成28年度実施箇所 3箇所

II 森林病虫害防除費

1	森林病虫害等防除事業	38,902	37,562
---	------------	--------	--------

森林病虫害等防除法に基づき、特別防除・地上散布・樹幹注入による予防措置、伐倒駆除・特別伐倒駆除による駆除措置を実施した。

平成28年度末被害材積は、345m³（対前年度比102%）となった。

	特別防除 (h a)	地上散布 (h a)	伐倒駆除 (m ³)	特別伐倒駆除 (m ³)	樹幹注入 (薬剤本数)
県営事業	—	29.0	—	—	—
損失補償	116.0	109.7	53.3	88.93	—
奨励事業	—	29.0	—	—	315
県単事業	—	78.0	—	—	1,024
計	116.0	245.7	53.3	88.93	1,339

III 造林費

1	優良種苗育成事業	5,797	5,121
2	植物公園緑花センター等管理事業	97,136	96,895
3	森林環境保全整備事業	811,051	356,216
		翌年度繰越額 454,835	

抵抗性まつ等の優良な種苗の育成とすぎ・ひのき種子の供給を行った。

- ・抵抗性まつ種子採取量 3,055 g
- ・抵抗性まつ苗出荷本数 3,526本
- ・すぎ種子 21.0 k g
- ・ひのき種子 39.2 k g

緑と花を楽しめる野外レクリエーション施設である植物公園緑花センター及び根来山げんきの森の管理運営を特定非営利活動法人根来山げんきの森倶楽部に指定管理委託した。

・平成28年度植物公園緑花センター入園者 : 177,332人

木材利用の推進と併せて、森林の持つ多様な機能が発揮できる森林整備を総合的に実施した。

・森林整備 1,586 h a（うち間伐855 h a）

(前年度繰越分)

1 森林環境保全整備事業 554,227 549,418

木材利用の推進と併せて、森林の持つ多様な機能が発揮できる森林整備を総合的に実施した。

・森林整備 1,504h a (うち間伐1,286h a)

IV 治山費

1 一般治山事業 1,507,776 1,372,953
 (翌年度繰越額 134,777)

山地治山総合対策をはじめ水源地域等保安林整備・農山漁村地域整備交付金事業により、54箇所(の)の荒廃地及び山地災害危険箇所の整備を実施した。また、山地に起因する地すべり被害防止のため抑制工事を行った。

事業名	箇所数	うち補正分	事業費	うち補正分
山地治山総合対策	22	3	930,509	118,136
水源地域等保安林整備	20	-	234,862	-
農山漁村地域整備交付金(治山費)	12	-	342,359	-
計	54	3	1,507,730	118,136

2 県土防災対策治山事業 167,004 167,003

人家・公共施設に接する裏山等の崩壊に伴う復旧工事及び防災工事や治山施設に係る小規模な災害に伴う維持修繕に対し、県営及び市町村補助として実施した。

施行主体	箇所数	事業費
県	28	163,212
市町村	1	3,791
計	29	167,003

3 民有林直轄治山事業負担金事業 189,300 186,686

台風12号災害箇所のうち、事業規模が著しく大きく、高度な技術を要する箇所において国が実施した事業に係る負担金を支出した。

実施箇所(市町村)	箇所数	負担金
田辺市	5	186,686

(前年度繰越分)

1 一般治山事業 199,736 182,628

山地治山及び交付金により8箇所の荒廃地の整備を実施した。

事業名	箇所数	うち補正分	事業費	うち補正分
山地治山総合対策	5	1	140,032	66,394
水源地域等保安林整備	-	-	-	-
農山漁村地域整備交付金(治山費)	3	-	42,596	-
計	8	1	182,628	66,394

2 災害関連緊急治山事業 71,315 71,315

平成27年の梅雨前線豪雨により被災した山地について、河川や農地への再発防止など、

安全確保のために緊急に必要な復旧整備を実施した。

実施箇所(市町村)	箇所数	事業費
すさみ町	1	71,315

V 県有林費

1 県有林経営管理事業 19,370 14,907

県有林の保育管理を行い、基本財産の造成を図った。

・県有林管理面積 4,595 h a

水産振興課

I 水産業総務費

1 漁業金融制度資金利子補給等助成事業 11,994 11,415

漁業の近代化及び経営の安定を図るため、資金の借入に対する利子補給及び信用保証料補助を実施した。

・融資額 76,530

・融資件数 23件

II 水産業振興費

1 栽培漁業推進事業 2,640 2,611

栽培漁業を推進するため、栽培漁業基本計画に基づき、稚魚等の放流を行うとともに効果調査を行った。

2 栽培漁業センター運営事業 60,225 59,114

栽培漁業の振興を図るため、(公財)和歌山県栽培漁業協会に栽培漁業センターの管理運営業務及び種苗生産業務の委託を行った。

(前年度繰越分)

1 ブルーツーリズム推進事業 8,500 3,548

水産業と観光を融合したブルーツーリズムを推進するため、市町等が実施する体験交流施設等の整備に対する補助を実施した。

III 水産業協同組合指導費

1 漁協等再建支援事業 1,421 1,421

欠損金解消のため経営改善計画に取り組んだ漁協等に対して利子補給を行った。

2 漁家経営改善対策事業 10,149 10,148

漁業者負担軽減措置を講じる漁協に対して、事業改革のために借入れた資金の償還に要する経費の補助を実施した。

IV 漁業構造改善費

1 水産基盤整備事業 20,140 18,414

沿岸漁業の生産基盤である漁場の整備拡充を図るため、効率的な水産土木工法による魚礁設置事業を推進するとともに、漁場環境の改善等を図る市に対して補助を行った。

事業種類	実施場所	事業量
マダイ増殖礁	和歌山市和歌浦地先	13基
底びき網漁場掃海	和歌山市沖合	5.9km ²
	有田市沖合	6.2km ²

(前年度繰越分)

1 水産基盤整備事業 143,986 138,216

沖合漁場の整備拡充を図るため、表層型浮魚礁の製作を実施した。

事業種類	実施場所	事業量
表層型浮魚礁	白浜町沖合	1基(製作)

資源管理課

I 水産業総務費

1 漁船調整事業 1,226 874

漁船登録事務の維持・適正化を図るため、漁船の建造等調整及び20トン未満漁船の測度を実施した。

[和歌山県内登録漁船隻数：4,792隻]

新規登録隻数	252隻
変更登録隻数	91隻
建改造等許可件数	27件
測度実施隻数	7隻

II 水産業振興費

1 内水面漁業振興対策事業 8,281 8,243

あゆ、あまご種苗の放流等の取組を支援した。

魚種	放流量	放流河川数
あゆ	35 t	13
あまご	44万尾	10

2 漁場環境保全等モニタリング事業 3,135 1,174

原因者不明の漁業障害物、ゴミ等を除去し、操業の安全性を確保するとともに効率化を図った。また、赤潮、貝毒に対処するため、漁場の環境及び貝毒量の監視を行った。

3 資源管理・回復推進事業 2,307 2,100

TAC(漁獲可能量)制度の対象となる、まあじ、さば類、まいわし、さんま、するめいかについて、漁獲割当量の県内再配分及び管理を行った。また、漁業版所得補償制度

の基礎となる資源管理計画の策定指導及び管理を行った。

Ⅲ 漁業調整費

1 主要漁業の再編整備（小型機船底びき網漁業）事業	5,676	5,676
---------------------------	-------	-------

小型機船底びき網漁業について、減船を推進することで漁獲努力量を削減し、対象資源の水準と当該漁業の経営の改善を図る取組を支援した。

小型機船底びき網漁業減船数	13隻
---------------	-----

Ⅳ 漁業取締費

1 漁業取締事業	51,947	43,045
----------	--------	--------

本県地先海面における漁業秩序の維持確立を図るため、漁業違反船舶に対する取り締まりを実施した。また、遊漁船業者へのライフジャケット着用等安全指導を実施した。

違反検挙件数	2件
法令指導件数	117件
安全指導件数	4件

2 漁業取締船「新はやぶさ」代船建造事業	284,365	283,600
----------------------	---------	---------

漁業取締船「新はやぶさ」の老朽化に伴う代船建造（平成27年度～平成28年度の2箇年工事の2箇年目）を行った。

（前年度繰越分）

1 漁業取締船「新はやぶさ」代船建造事業	104,572	104,572
----------------------	---------	---------

漁業取締船「新はやぶさ」の老朽化に伴う代船建造を行った。